

沖縄工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	長期インターンシップ	
科目基礎情報							
科目番号	6021			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 12		
開設学科	電子通信システム工学コース			対象学年	専2		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	教員作成資料、企業作成資料						
担当教員	兼城 千波						
到達目標							
①長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につけ、自らのキャリアデザインにつなげることができる ②高専で学んだことと働くことを関連付けて考え、企業活動の国内外に対する関連性・社会的責任を理解することができる ③就業経験および共同研究・受託研究を通して、研究開発の意義を学び、遂行することができる 【6-3-1 VII-A】企業等における将来にわたるキャリアイメージをもとに、仕事とのマッチングを考えることができる 【6-3-1 VII-A】キャリアイメージを実現するために必要な自身の能力について考えることができ、それを高めようとする姿勢をとることができる。 【6-3-1 VII-A】企業あるいは技術者・研究者が持つべき仕事への責任を理解できる 【6-3-3 VII-C】自らの主体性や意欲の向上から、技術者に要求される創造的実践性、複眼的視野を持つことができる 【6-3-3 VII-C】品質、コスト、効率、スピード、納期などに対する視点を持つことができる 【6-3-3 VII-C】チームワーク力、リーダーシップ力、マネジメント力などを身に付けることができる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につけ、自らのキャリアデザインにつなげることができる。		実務経験を通し、その内容を理解し、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につけ、自らのキャリアデザインにつなげることができる		実務経験を通し、その内容を理解し、職業意識を向上させることができる		実務経験を通し、その内容を理解し、日報や報告書に記述することができる (指示された通りに行動し、指示された提出物を期日厳守で提出する)	
高専で学んだことと働くことを関連付けて考え、企業活動の国内外に対する関連性・社会的責任を理解することができる。		実務経験を通し、その内容を理解し、企業活動の国内外に対する関連性・社会的責任を理解することができる		実務経験を通し、その内容を理解し、高専で学んだことと働くことを関連付けて考えることができる		実務経験を通し、その内容を理解し、自らの役割(立場)について日報や報告書に記述することができる (指示された通りに行動し、指示された提出物を期日厳守で提出する)	
就業経験および共同研究・受託研究を通して、研究開発の意義を学び、遂行することができる。		実務の内容と意義について理解し、自ら考え、関係者と相談しながら、実務を遂行することができる		実務の内容と意義について理解し、関係者と相談しながら、実務を遂行することができる		実務の内容と意義について理解し、意義に基づいて実務経験をし、その内容を日報や報告書に記述することができる (指示された通りに行動し、指示された提出物を期日厳守で提出する)	
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 専攻科－1 教育目標 専攻科－3							
教育方法等							
概要		【概要】 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。 1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。 2. 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。 3. 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 4. 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 5. 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。 別紙、「長期インターンシップ実施要領」を必ず読み、行動すること。 ◎単位数 ・1ヵ月: 4単位 ・2ヵ月: 8単位 ・3ヵ月以上: 12単位					
授業の進め方・方法		・実施要項を参照すること 【成績評価など】 研修(日報による評価40%)および研修先の評価(40%)、およびインターンシップ報告書の内容(20%)で評価する。 60%以上を合格とする。 履修に必要な書類: 受入許可書および日程表(この提出をもって履修許可とする)、日報、派遣先からの評価書、報告書(様式任意)、報告書(学校様式2)、発表会資料、履修願 ◎単位数 ・1ヵ月: 4単位 ・2ヵ月: 8単位 ・3ヵ月以上: 12単位					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	講義内容説明・ガイダンス			インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンス	
		2週	インターンシップ先企業研究			企業研究、大学受け入れ先検討	

		3週	インターンシップ	約4週間の企業研修・大学での研究 ①企業における多様性を理解し、自らの進路としてキャリアデザインを構築することができる ②企業における社会的責任を理解できる ③企業活動が国内外の他社との関係性を理解できる 【6-3-1 VII-A】企業等における将来にわたるキャリアイメージをもとに、仕事とのマッチングを考えることができる 【6-3-1 VII-A】キャリアイメージを実現するために必要な自身の能力について考えることができ、それを高めようとする姿勢をとることができる。 【6-3-1 VII-A】企業あるいは技術者・研究者が持つべき仕事への責任を理解できる 【6-3-3 VII-C】自らの主体性や意欲の向上から、技術者に要求される創造的実践性、複眼的視野を持つことができる 【6-3-3 VII-C】品質、コスト、効率、スピード、納期などに対する視点を持つことができる 【6-3-3 VII-C】チームワーク力、リーダーシップ力、マネジメント力などを身に付けることができる			
		4週	インターンシップ	同上			
		5週	インターンシップ	同上			
		6週	インターンシップ	同上			
		7週	インターンシップ	同上			
		8週	インターンシップ	同上			
	2ndQ	9週	インターンシップ	同上			
		10週	インターンシップ	同上			
		11週	インターンシップ	同上			
		12週	インターンシップ	同上			
		13週	インターンシップ	同上			
		14週	インターンシップ	同上			
		15週	インターンシップ	同上			
		16週	インターンシップ	同上			
後期	3rdQ	1週	インターンシップ	同上			
		2週	インターンシップ	同上			
		3週	インターンシップ	同上			
		4週	インターンシップ	同上			
		5週	インターンシップ	同上			
		6週	インターンシップ	同上			
		7週	インターンシップ	同上			
		8週	インターンシップ	同上			
	4thQ	9週	インターンシップ	同上			
		10週	インターンシップ	同上			
		11週	インターンシップ	同上			
		12週	インターンシップ	同上			
		13週	インターンシップ	同上			
		14週	インターンシップ	同上			
		15週	インターンシップ	同上			
		16週	成果報告会				

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	25	0	25
専門的能力	0	0	0	0	25	0	25
分野横断的能力	0	0	0	0	50	0	50